



荒川区西日暮里2-55-1
国鉄労組東京地方本部
発行責任者 鎌田博一
編集責任者 常盤達雄

No.1780

2015年

3月5日

増やせ賃金なくせ非正規
全員参加で勝ち取る
国民春闘

第104回 拡大地方委員会 組織拡大・春闘勝利へ全力

東京地方本部は、二月二日に新橋交通ビルにおいて、第一〇四回拡大地方委員会を開催した。

一〇時三〇分に稲荷副委員長の司会あいさつで始まり、委員会議長には本間委員(神奈川)を、副議長には保田委員(神奈川)を選出した。

主催者を代表し鎌田委員長があいさつを行い、続く来賓あいさつでは、全労連代表の鎌田委員長が、全労連代表として、国鉄労働会館・伊藤専務理事が紹介された。上部機関からは、東日本本部佐藤書記長があいさつし、国労東京議員団・高橋団長からは、四月の統一地方選挙で改選を迎える三名の議員への選挙協力の要請がされた。

委員会に寄せられたメッセージを副議長が披露したあと、議事に入り、松川書記長から経過報告・当面する方針(案)の提案がされ、昼食休憩となった。



本間議長 保田福議長

歓迎 国労加入

横浜電力 技術センター

3/1付
59才

第104回拡大地方委



副議長

その後書記長集約が行われ、当面する闘争方針が確立した。「新入社員対策に全力をあげ、組織強化・拡大を勝ち取る特別決議」(二〇一五年国民春闘勝利！JRの安全で安心な社会を目指す特別決議)が全体の拍手で決議され、次いで委員会宣言を採択し、全ての議事が終了した。保田副議長から議長団退任のあいさつがされ、稲荷副委員長から閉会のあいさつが行われ、鎌田委員長が「団結がんばろうで委員会を終了した」。

春闘標語コンクール 入選

- 増やせ賃金 なくせ非正規
- 全員参加で勝ち取る国民春闘
- 横浜電力技術センター分会
- (分会としての作品)
- 佳作
- 正規非正規労働者
- みんなで勝ち取る一五春闘
- 宇都宮車掌区分会 中山正岐さん
- 組織拡大ポスターコンクール
- 池袋運輸区分会(分会としての作品)

執行委員長あいさつ (抜粋)

はじめに、安倍反動政治と対決する取り組みの強化についてです。
 昨年の衆議院選挙で、与党が3分の2以上の議席となり、憲法改正の発議ができる、危機的な情勢を迎えました。安倍政権は「すべての公約が信任された」として、格差をさらに拡大するアベノミクスの推進や法人税減税、集団的自衛権行使容認に向けた戦争関連法の整備を進め、憲法の全面改悪を目論むなど、右翼的な動きを強めてくることは明らかです。暴走を繰り返す反動政治に対し、改憲阻止、平和と民主主義をはじめ勤労国民の生命と暮らしを守る政治の確立に向け、広範な仲間との連帯を図り、闘いの輪を拡大していかなければなりません。
 また、福島第一原発事故から4年経つ今も、12万人もの人々が避難生活を強いられ、事故の原因究明も収束もないうまま、原発再稼働を加速する姿勢を示すなど、再び人類と地球環境を脅かす行為を強行しようとしています。私たちは、原発ゼロの実現に向け、脱原発で闘う全国の仲間と共に、当面する3・14原発のない福島を！県民大会などの連帯行動に、全力を挙げていきます。

次に、2015年春闘の取り組みについてです。
 前年に続いて「政労使」会議は、「経済界は賃金引き上げに向け最大限の努力をはかる」ことで合意しました。しかし経営側は、ベア実施には慎重な姿勢を崩していないのが現状です。安倍政権は「成長戦略」の名のもと、労働者派遣法改正や残業代ゼロの制度化など労働法制の規制緩和を推し進めようとしています。貧困格差社会は一段と深刻化し、社会保障制度の切り捨てなど、私たちの生活に大きな犠牲をもたらすことは明白です。
 さらに、15春闘要求についてはJR各社へ提出し、回答指定日を3月18日としています。ベースアップをはじめとする全国統一重点要求の実現、組織強化・拡大の取り組み等の諸課題としっかり結合させ、全組合員が共有できる、職場からの春闘再生をめざし、闘いの前進を図らなければなりません。また、JR貨物における15年連続の「ベアゼロ」を打破し、レール使用料問題など「構造的矛盾」の解消に向けた闘いを、客貨一体となり強化していくことが求められています。

次に、組織強化・拡大の取り組みについてです。
 私たちは「全ての諸闘争を組織強化・拡大の取り組みに集約しよう」と、全機関で意思統一を深め合ってきました。平成採をはじめ新規採用者や「最後は国労で」とシニア世代の仲間、グリーンスタッフ、プロパー社員にいたるまで、幅広い年齢層の国労加入が報告されています。すべての経験と取り組みを組織的に検証し、情勢認識の一致と地道な運動をさらに強める中から国労加入を訴え、精力的に拡大運動を追求しなければなりません。
 国労組織と運動を後世に継承していくためにも、当面する新規採用者をはじめ、グループ会社を含めた幅広い年齢層で国労加入を勝ち取るために、全機関がより奮闘し合うことを、今拡大地方委員会の総意として確認し合いたいと思います。

次に、安全・安定輸送の確立と労働条件改善の取り組みについてです。
 JR各社は、外注化施策を深化させ、人件費の削減、非正規社員の拡大など、あらゆる施策が際限なく進められています。安全・安定輸送の確保と労働条件の改善、技術継承、教育の充実がJR各社に共通する課題であり、労働組合としての任務と役割が極めて重要になっています。
 また、営業職場におけるグリーンスタッフの正社員化を求める制度改善や関連会社社員の均等待遇と労働条件・職場環境改善など、社会的公正の実現をめざす取り組みも必須の課題です。
 「安全・安心に働ける職場づくり」を構築し、安全・安定輸送へ向けた取り組みをさらに強化するためにも、「安全・仕事総点検運動」を全職場に定着させ、展開していきたいと考えています。
 今年4月に統一地方選挙が実施されます。改めて安倍政権打倒に向け、護憲・平和・民主主義勢力の前進と拡大のために、職場・地域力を総結集して闘い抜く決意を固め合おうではありませんか。

大幅賃上げを勝ち取る！ 上野支部春闘総決起集会

上野支部は二月二日に、二〇一五年春闘勝利、労働条件改善、組織拡大をスローガンに掲げて、春闘総決起集会を岸町ふれあい館において開催した。

野佐根委員長からのあいさつでは、この間の支部の取り組みの報告がされ、地本松川書記長からは、一五春闘の情勢と労働条件改善の取り組みの報告があった。学習会を兼ねた今集会でのメイン企画では、「憲法問題と労働法制について」と題して、国労弁護団の高木太郎弁護士より講演をいただいた。講演では、安倍政権の危険な策謀にからめたイスラム国問題、格差と貧困の拡大を指摘しているフランスの経済学者トマ・ピケティさんの「二十一世紀の資本論」などを引用し、政府と大企業が一体となつての労働者への攻撃に反撃すべし、などの事が話された。

これを受け鈴木書記長が支部の具体的な春闘の取り組みを提起したあと、営業職場から赤羽駅連合分会の山菅さんが駅遠隔操作

部機関に向けた檄布の寄せ書きなども取り組まれ「何となくでも賃上げと組織拡大を」との思いを胸に団結ガンバローで集会を締めくくった。



国労上野支部春闘総決起集会

